

民主主義の現状と政権交代への展望

2008.05.03

北海道大学

山口二郎

はじめに 民主政治の現状をどう見るか

- ・改憲、反動への歯止め 安倍路線の惨めな末路
憲法維持世論の拡大
イラク戦争への反省
- ・着々と進む憲法の空洞化 米軍再編と自衛隊、安保体制の変質
岩国に見る強権政治
教育の場で強まるコンフォーミズム
憲法 25 条の危機

1 民主主義の基本的条件

- ・民意による政治 選挙制度の整備
政治参加の拡充 投票 運動 表現
多数決と少数意見の尊重
→多数の専制という問題をいかに防ぐか
- ・抑制均衡と人権の尊重 報道の自由
司法の独立と権力へのチェック
地方自治

2 日本の民主政治における欠落

- ・抑制均衡の機能不全 裁判所の官僚化
メディアの翼賛体質
人々は異論との共存を受け容れられるか
- ・一党支配こそ諸悪の根元 裁判所はなぜ官僚化するか
メディアはなぜ権力批判機能を失うか
政府自民党を敵に回すことのしんどさ
- ・言論空間における支配 言葉の定義を誰がするのか
例 強者への利益提供は改革と賞賛され、
弱者への利益提供はばらまきとけなされる
メディアを覆う権力のベール

3 政権交代への半歩前進

- ・衆参分割国会の意義 ねじれという言葉を使うべきでない
国会の議席構成を変えることで政策は変わる
行政の悪弊を露顕させる＝「国権の最高機関」が初めて実現
- ・あと半歩をいかに進むか 選挙による正攻法の政権交代を
民主党を市民の側に引き寄せる
民主主義のための大同団結＝市民の側における大連立を
平和と平等を守るという原点から出発する